

## ～院長コラム～

### 「よけいなことをしない 漢方薬編」

20代女性です。

主訴は生理痛、腹痛、イライラ

既往歴：心身症（詳細不明）にて心療内科で治療歴あり、現在は内服なし  
非常にカラダが冷える、右下腹部が痛い、診察で押しても痛いが走ります。

もうこれは当帰芍薬散（とうきしゃくやくさん）がピッタリの人だと思い、

2週間漢方薬を飲んでもらいました。

2週間後、本人さんの反応は今ひとつでした。

合っているかどうかよくわからないと、今日は足がむくんでいるのでこれを何とかしてほしい、と言われます。冷えて両下肢、特に足首付近がむくんでいます。

猪苓湯（ちよれいとう）を追加してさらに2週間後再診です。

猪苓湯は全く効かないと言われます。

猪苓湯を中止して当帰芍薬散のみを1ヶ月飲んでいただいたところ、

「今までで一番生理痛が楽でした。ウソのように症状が消えてしまった。

足のむくみも消えました！」と。

最初の2週間の判定の時に、“症状が悪くなっていなかったらこのまま行く”という方針でいけば良かったわけです。

色気を出してさらに薬を追加したことで、患者さんが早く治るところを遠回りしてしまっただけです。

当帰芍薬散のみでも、月経不順、冷え、むくみを治す可能性は十分ありますので、何でもかんでもすぐ追加は良くないという、勉強になりました。

現在この方は、生理は調子良いからもうこれはいらないと言って当帰芍薬散を中止して、手足の冷えにと当帰四逆加呉茱萸生姜湯（とうきしぎゃくかごしゆじょうきょうとう）を飲んでいきます。手足が温まって気分がいいそうです。

「子ども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード  
※名前を入力して送信して下さい



子ども健康ネットブログ  
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2013年3月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条（パロー北）

ホームページ [www.n-kodomo.com](http://www.n-kodomo.com)

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00～15:00		△		★	△		
	16:00～18:30	○	○			○		

★：漢方外来 14:00～17:30 受付    △：乳幼児健診及び予防接種



診療予約

058-327-4891

お問い合わせ

058-327-3100